

みやま

NEWS No-17

アメリカ合衆国での充実の24日間!! 海外短期留学生4名が帰国

7月24日から8月16日までの24日間、アメリカ合衆国ワシントン州アーリントンでの短期留学に、本校生4名が参加しました。この短期留学は、玖珠・九重両町支援金によって実施されたものです。帰国後、参加者4名は、9月1日(金)には野尻校長へ、4日(月)には朝倉玖珠町長へ、6日(水)には日野九重町長へ海外短期留学終了の報告を行い、玖珠町、九重町からの支援に対する感謝の気持ちを述べました。また、9月7日(木)に行われた学校運営協議会でも、海外短期留学の報告を行いました。今後は、美山祭(文化の部)で報告発表を行う予定です。最後に、参加者4名の感想(要約)を紹介します。



報告会后に全員で記念撮影
みんな笑顔です!!

普通科2年 後藤 葵

(森中学校出身)



私は海外研修に参加して、多くのことを学ぶことができ、自分が成長することができました。実際にアメリカへ行き、多くのアメリカの人達とふれあう中で新しい考えや彼らのバイタリティーあふれる行動を目の当たりにして、今までの自分が小さいことで悩んでいたと気づかされました。今回の研修で辛かったことは、ホストマザーと電話をした時に、マザーの英語が全然理解できなかったことです。相手が見えない電話では、身ぶりや表情での理解ができず苦労しました。また、今まで当たり前と思っていた日本の生活のありがたさにも気づきました。

普通科2年 小路 菜紀

(このえ緑陽中学校出身)



私は海外でのホームステイは初めてでした。ホームステイでは、午前と一緒に研修に参加した日本人の学生達と学校で英語を学び、午後は課外活動やボランティア活動に参加をしました。週末にはホストファミリーといろいろな所に行き、多くのアメリカ人とふれ合う機会がありました。アメリカの子どもは日本の子どもよりも大人っぽく、またアメリカ人は年代を超えて対等に会話をしているように見えました。多くのアメリカ人と出会い、共に有意義な時間を過ごす中で、日本では学ぶことができないことを多く学べ、私にとって中身の濃い研修になりました。

普通科2年 川村 菜緒

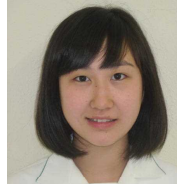
(東部中学校出身)



私は、今回が初めての海外であり、自分の英語が通じるのか、上手くやっていけるのかという不安はありましたが、自分の英語力を磨きたいという強い気持ちもありました。ホームステイを始めた頃は、ホストファミリーに英語で言われても、すぐに英語が出てこなくて返答することができませんでした。それでも、日が経つにつれ、少しずつ英語が聞き取れるようになり、返答も以前より早くできるようになりました。しかし、自分の伝えたいことを全て英語で上手く伝えることはできないままでした。もっとしっかり英語の勉強をしておけばよかったと後悔しました。

普通科1年 松下 文香

(森中学校出身)



私にとって今回が初めての海外研修の参加でした。アメリカでは自分の英語が通じないことも多く、自分の考えを伝えることも難しく大変でした。英語で会話をする力がもっと必要だと痛感させられました。私はこれまで以上に英語学習に力を入れたいという気持ちになりました。私は今回の海外研修の中で、たくさんの日本文化をアメリカ人に伝え、文化の違いを見つけたと考え、日本での「いただきます」という言葉を伝えました。アメリカ人には発音が難しく、最初はなかなか言えませんでした。最後にはしっかりと発音ができるようになり安心しました。